

# 図書館だより



第47号  
令和2年1月23日発行

鹿児島純心女子短期大学図書館  
KAGOSHIMA Immaculate Heart college LIBRARY

## ■ 巻頭言

### 「本というドラマ」

図書館長 佐々木 亘 (哲学、経済学、宗教思想)

本には二つのドラマがあります。一つは出版に至るまでのドラマ。本のあとがきを読むと、そこにちょっと触れていることがらでも、きっと多くのドラマがあったのだらうと想像できます。そして、もう一つのドラマは、それを読んだ人が紡ぐ物語です。今回はこちらのお話しをしましょう。

私が研究の道に入るきっかけは、学部二年生の時にトマス・アクィナスの『神学大全』と出会ったからです。この出会いは、まるで“化学反応”のように私の人生を変えてしまいました。つまり、この本と出会う前の“佐々木亘”と、出会ってからの“佐々木亘”とは、まったくの別人！出会う前の私は、何を自分がしたいのかもわからず、日々悶々と苦悩する悩める青年でした。しかし、出会ってからは、未来に一本の光明を見いだす夢見る青年（そして、今は“夢見るおじさん”）となったのです。『神学大全』はけっして簡単で読みやすい本ではありません。しかし、系統立てて展開される問いと答えの大海は、知的好奇心を魅了してやみません。本当です。図書館で手に取ってみてください。

そう考えると、本は皆さんに化学反応を引き起こさせる素材のようなもの。一見、つまらなそうな本でも、それを読むとあなたの人生が劇的に変わってしまう可能性があります。「読んでみてよ、面白いわよ」、「この本を開くと、ワクワクする真理に出会えるぜ」、「むずかしいけど、頑張っただけで最後まで行き着くと、これまでとはまったく違う世界が広がっているよ」。そんな本のささ

やきが聞こえてきそうです。

皆さんはこれからの人生で、“化学反応”というドラマには、きっとどこかで出会えるはずで、もし、この純短に在学中に出会えたら、それはとても素晴らしい体験です。どの本も、あなたに化学反応を引き起こす“触媒”となる可能性があります。図書館はそのような出会いの場であるだけではなく、見方によっては“巨大な実験室”なのです。

2020年はオリンピック・イヤー。きっと、さまざまな感動を届けてくれるでしょう。しかし、感動という点では本も負けてはいません。『100万回生きたねこ』の感動も、『星の王子さま』の感動も、『対岸の彼女』の感動も、『パイドン』の感動も、それぞれまったく違った内容でありながら、「何か考えさせられる！」という点では共通しています。

本のすごい点は、「いつでもどこでも気軽に」読めることです。本の感動をえるために、スポーツウェアに着替える必要はありません。わざわざスタジアムに足を運ぶ必要もありません。ちょっとした時間と空間があれば、そして、お気に入りの飲み物でもあれば最高です。簡単でしょう！皆さん、たまには本とにらめっこしてみませんか。そして、本に隠れているドラマのささやきをくみ取りながら、今度はあなただけのドラマを紡いでいってください。



## 京都の本屋さんでの出会い

講師 北山 敏秀 (日本近現代文学)



みなさんには、好きな小説家がありますか？

私は19歳のときに初めてその文章を読んで以降、ずっと大江健三郎という小説家のファンです。大江の小説についての論文も発表していますので、(いちおう) 専門家ということにもなるのでしょうか。彼の小説には、独特の暗さがあります。大学生だった19歳当時の私は、その暗さに、いっきに惹きつけられました。幼い頃から、「ファール昆虫記」や江戸川乱歩の「少年探偵団」シリーズ、高校生になってからは村上龍など、それなりに好んで読書をしていた記憶はありますが、この大江との出会いは、それまでとはまったく違い、新たな自分の発見ともいえる大きなものでした。

大学生時代を過ごした、京都でのことです。ある友人から、大江の『二百年の子供』という作品をすすめられました(鴨川の河原でのことだったと思います)。そのとき私は、「大江健三郎＝ノーベル賞を取った童話でも書いていそうな優しいおじいさん」という程度のイメージしか持っていませんでした。ノーベル賞作家だから紹介してくるんだな……と、その友人のことを少しミーハーだなと感じたほどです。

そして、私が初めて手に取ったのは、『死者の奢り・飼育』というタイトルの新潮文庫でした。京都の今出川にある街の小さな本屋さんの棚に、大江の新潮文庫が並んでいるのが目につきました(茶色の背表紙です)。タイトルを見たときに、少し「ん？」と思いました。「死者」という言葉が、イメージと違ったからです。本棚から取り出して、文庫カバーに印刷されている内容紹介文を読んだときに、もっと「ん？」と思いました。そこには、「“閉ざされた壁のなかに生きている状態”を論理的な骨格と動的なうねりをもつ文体で描いた」とあり

ました。「何かおかしいな」と思ってページをめくり、「死者の奢り」(1957)の冒頭の一文を読んだときに、もう一目惚れしていました。それは、医学部の地下にある死体処理水槽に浮かんでいる死体を処理する学生アルバイトについての物語でした。その「死体」が、“閉ざされた壁のなかに生きている”当時の若者たちの心情と比喩的に重ねられています。大江健三郎が、22歳の、まだ大学生だった頃に書いた作品です。暗いでしょう？

そのとき私は、この作家はきっと、「優しいおじいさん」のイメージになるまでに、相当に曲がりくねった作家としての道を、必死に考えながら歩んできたのだろうということを直感しました。ギャップにやられたのです。その印象が、19歳としてそれなりに屈折を抱えていた私の心に、深く浸透しました。私にとっての「文学」との出会いでした。

そして私は、卒論のテーマに大江の作品を選び、その後、大江との付き合いはいまに至ります。「本当に大江が好きなんだね」と、よく言われます。そろそろ別の作家に手を出さなくては、と思っているのですが、なかなかうまく行きません。でも、鹿児島に来たことが大きなきっかけになるだろうと期待しています。島尾敏雄、向田邦子、あるいは椋鳩十？

ところで、京都の鴨川で私に『二百年の子供』を紹介してくれた友人は、いまでも大江の作品を読んでいるのでしょうか？ LINEの「友だち」には登録されているのですが、もう10年以上連絡をとっていません。私の人生を変えたとは、たぶん気づいていないでしょう。



# 学生図書委員の活動報告



委員長  
英語科2年

W. N.

私は本が大好きなのと、  
図書館という空間が大好き  
で出来るだけ長く心地いい

図書館に居たいという単純な気持ちで2年連続で図書委員に立候補しました。

特に今年は図書委員長ということで図書館を盛り上げる為の活動に努め、学校初のビブリオバトルまで開催することが出来ました。正直委員長らしいことは何も出来なかった気がしますが、図書館を盛り上げる為に違う学科の図書委員の皆と行動を起こす事は私にとって有意義な時間でとても楽しかったです。



副委員長  
現代ビジネスコース2年

U. S.

2年間図書委員をして、各学科・各学部の学生との交流を通して、本を読むことはもちろん、たくさんの人と関わることが好きになりました。

月ごとの各コースの展示・純短祭の展示レイアウトについても、一生懸命取り組みました。司書の先生方はとても優しく、丁寧に指導して下さいるので図書館にいることをとても居心地が良いと感じていました。

図書館でたくさん本を借り、本を読み、文章力や読解力を身に付けることで、社会に出ても通用する知識・教養を深めることが出来ます。皆さんも是非気軽に図書館を利用して欲しいです。

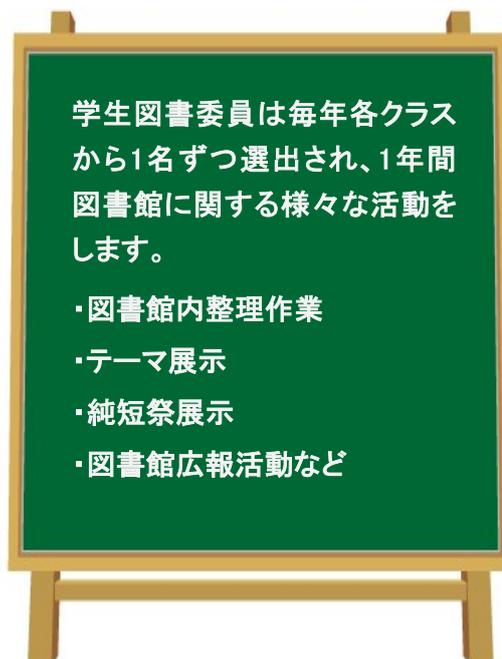


書記  
現代ビジネスコース1年

K. K.

図書委員の役員は、より多くの人に図書館を楽しく利用していただけるように、様々な取り組みを行っています。不慣れな点も多いですが、とてもやりがいのある仕事だと感じています。展示やイベントなど、多彩な取り組みをしているので、ぜひ参加してみてください。

私たちは図書館が、学校にいる全ての人か落ち着いて過ごすことができる場所であるべきだと考え、そのような場所を提供できるよう日々務めています。空きコマに勉強の為に来るのはもちろん、本との新しい出会いを求めてぜひ図書館にいらしてみてください。



学生図書委員は毎年各クラスから1名ずつ選出され、1年間図書館に関する様々な活動を行います。

- ・図書館内整理作業
- ・テーマ展示
- ・純短祭展示
- ・図書館広報活動など

# 展示活動

## ●各月のテーマ展示

各月ごとに学生図書委員の担当がテーマを決め、様々な工夫をこらし、展示を行っています。図書館入口付近に展示されているため、多くの方にご覧いただいています。

## ●純短祭での展示

純短祭にて、学生図書委員がオススメの本を紹介しました。

### 各月のテーマ展示



「おすすめは童話」(5・6月)  
こども学専攻



「ミステリー・ホラー」(7~9月)  
現代ビジネスコース



「芸術の秋」(10・11月)  
英語科



「冬におすすめ本」(12・1月)  
食物栄養専攻



デザイン表現コース1年  
M. A.

### 『最後の医者は桜を見上げて君を想う』

この本は友達で紹介で読み始めました。読み始めたときは、よくあるお医者さんのお話かと思っていました。しかし、余命を告げられた患者に対して、残りの人生をどう生きるのかを考える手もあると言う医者と最後まで奇跡を信じて諦めない医者。「死」への考え方の違いで対立する二人の医者の戦いを描いた物語で、今まで読んでことがないジャンルだなと感じました。最初から最後までとても感動する物語です。是非、読んでみてください。



913.6 || NI  
短大5階文庫

純短祭での展示

デザイン表現コース

英語科

こども学専攻



食物栄養専攻

現代ビジネスコース



一生懸命制作中！



食物栄養専攻2年  
H. N.

『夢をかなえるゾウ』

叶えたい夢はありますか？それならこの本をおすすめします。とあるサラリーマンが、インドのお土産で買って来たガネーシャという神様に自分の理想と現実に嫌気が差して、泣きついたことから始まるお話です。ガネーシャの与える試練をこなしながら読む人も物語の中の主人公と一緒に成長できるそんな本です。読み終わったあなたはきっと何かが変わっているはず。



913.6||MI||[1]  
短大5階和書

# 「ビブリオバトル」を開催しました！

令和元年11月2日、「ビブリオバトル」を開催しました。今回は、学生図書委員を中心に準備をすすめました。初めての開催とあって、準備や呼びかけなど試行錯誤でしたが、無事に開催することができました。白熱したバトルが繰り広げられ、楽しいひとときとなりました。



第2位

こども学専攻2年

T. Y.

自分の選んだ本の良さが聴いている方に伝わるように話し方を工夫しました。また、他の方の発表を聴く中で、自分の読みたいと思う本の幅が広がりました。

今回、実行委員として関わり、選手として参加することができて良かったです。



第1位

英語科2年

N. R.

本の魅力を十分に伝えるのは想像以上に難しかったのですが、本と向き合う時間は大変貴重でした。

プレゼン中に皆さんに笑っていただけたり、「読んでみたい」と直接言葉をかけていただいたことがとても嬉しく、参加できて本当に幸せでした。



第3位

現代ビジネスコース1年

Y. Y.

記念すべき第1回目のビブリオバトルに参加させていただきました。私の中で一番好きな『博士の愛した数式』という本を紹介し、光栄にも3位と入賞までいただきました。自分の話を聞いて、その本を読みたいと思ってくれた人が一人でもいるだけでとても嬉しかったです。



# きっと役に立つ！「雑誌」あります！

本学では多数の雑誌を所蔵しています。授業に関連する内容のものはもちろんですが、それ以外にも、様々なジャンルのものがあります。ここに一部を紹介しますが、「まだ読んだことない！見たこともない！」という方、ぜひ雑誌書架を見に来てください。きっとあなたの役に立ちます。



『新潮』 新潮社  
日露戦争の年に創刊されたという歴史ある文芸誌！三島由紀夫賞や川端康成文学賞などがこの雑誌内で発表されます。



『月刊We learn』 日本女性学習財団  
男女共同参画のための専門情報誌です。女性のキャリア形成のために必要な情報などが掲載されています。



『芸術新潮』 新潮社  
1950年に創刊され、歴史的な芸術作品のほか、建築や古美術など様々な美しいものが紹介されています。



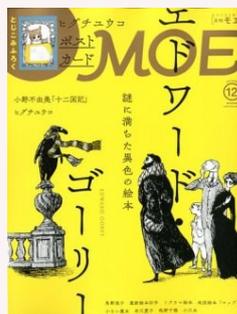
『Reader's digest』 Asia ed. DIRECT PUB. Asia  
良質の英語で書かれており、英語を学ぶ人には最良のテキストといえる英語雑誌です。



『TOEIC Test プラス・マガジン』 リント  
TOEICでスコアをあげたい人、英語力を伸ばしたい人に役立つ英語学習誌です。



『ピッコロ』 学研教育みらい  
季節や行事にあわせた壁面飾りや行事等で使えるものなど、すぐに役立つアイデアが満載です。



『月刊モエ』 白泉社  
絵本のある暮らしを提案する月刊誌です。人気作家の絵本やキャラクターなどをテーマに情報を届けてくれます。



『切抜き速報・食と生活版』  
『切抜き速報・幼児と保育版』  
ニホン・ミック  
全国紙を含む、北海道から九州・沖縄までのブロック紙・地方紙・専門紙、85誌の新聞記事が分野ごとに可能な限り網羅的にまとめられたものです。



『日本栄養士会雑誌』 日本栄養士会  
栄養・健康に関する情報が満載です。現場の事例報告や管理栄養士・栄養士などを紹介するコンテンツなどもあります。



## 年間貸出冊数



平成30年度の総貸出冊数は学生540人に対し、11,196冊でした。1人当たりの貸出冊数は**20.7冊**と昨年を下回りました。全国平均は約9.0冊ですのでそれに比べるとかなり高い数字です。

学科・コース別では以下の通りです。

1位 英語科2年	67.3冊
2位 英語科1年	57.9冊
3位 こども学専攻2年	31.6冊
4位 食物栄養専攻2年	19.7冊
5位 こども学専攻1年	13.7冊

分類別貸出順位は以下の通りです。

**1位 言語、2位 芸術・美術、3位 文学**

## 図書購入依頼・相互利用

令和元年度の図書購入依頼（リクエスト）、他大学への貸借・文献複写依頼・受付の件数は以下の通りです。来年度も引き続きご利用ください。

- 図書購入依頼・・・69件
- 他大学図書貸借依頼・・・75件（内訳：学外 0件/学内 75件）
- 他大学図書貸借受付・・・132件（内訳：学外 9件/学内 123件）
- 他大学文献複写依頼・・・0件
- 他大学文献複写受付・・・1件

（令和2年1月8日現在）

春休みの長期貸出をご利用ください。

令和2年1月16日～

2年生 → 3月18日  
1年生 → 4月1日

## 業務日誌

### 4月～5月 オリエンテーション・ガイダンス

- 4月18～19日 九州地区私立短期大学図書館協議会総会・研修会(北九州市)  
九州地区大学図書館協議会総会（北九州市）
- 5月30日 鹿児島県大学図書館協議会総会（霧島市）

### 6月3日～28日 研究室蔵書点検

- 6月22日 西日本図書館学会総会・春季研究発表会（久留米市）

### 8月8日～31日 図書館蔵書点検

- 8月23日 九州地区私立短期大学図書館協議会夏期研修会（福岡市）
- 9月20日 CAT2020説明会（福岡市）

### 11月21～23日 全国図書館大会（津市）

- 11月30日 西日本図書館学会秋季研究発表会（福岡市）
- 12月5日 鹿児島県大学図書館協議会講演会・研修会（霧島市）

## 編集後記

平成に終わりを告げ、新しい元号「令和」が始まりました。「令和」最初の号も、多くの皆様のご協力により無事に完成いたしました。ありがとうございました。

この「図書館だより」は図書館活動の報告の場であり、図書館の歴史として長く保存されていくものでもあります。そのことを踏まえ、これからも、より一層充実した内容をお届けできるようがんばります。ご意見・ご要望などございましたら、お気軽にお知らせください。

### 卒業後も利用できます

卒業後も、学生時と同じように図書館を利用できます！どうぞご利用ください。